

(案)



# 読書のまち“高島” 本の楽しみをすべての子どもに

高島市子ども読書活動推進計画(第3次計画)



令和2年3月

高島市教育委員会

## 目次

第1章:第3次計画の策定にあたって P.1

第2章:第2次計画中の成果と課題 P.2

第3章:高島市子ども読書活動推進計画(第3次計画) P.5

第4章:計画の実現に向けて P.8

### 第1章 第3次計画の策定にあたって

高島市では平成22年に「高島市子ども読書活動推進計画」(第1次計画)を策定し、関係機関が連携を取りながら計画の実現に努めてきました。

平成27年には第1次計画を継承しつつ、より子どもを取り巻く環境に即した計画になるよう見直しを行った第2次計画を策定しています。

第3次計画では当初からの基本目標を引き継ぎながらこれまでの10年間の進捗状況を振り返り、関係機関はもちろん、家庭における取組についても触れ、子どもたちがより読書に親しむことのできる環境を整えていきます。

#### ～ 基本目標 ～

「読書のまち“高島”本の楽しみをすべての子どもに」

##### 1. 絵本はこころのミルク (乳児期)

- ① 絵本を使ってやさしく語りかけ
- ② 親子で絵本を楽しむ

→P.5

##### 2. 絵本となかよし (幼児期)

- ① 絵本と遊ぶ大切な時間
- ② 地域で支える絵本の世界

→P.6

##### 3. 本はともだち (小学生)

- ① 子どもと本をつなぐ学校図書館
- ② そっと後押し本の世界へ

→P.6

##### 4. 本は心の翼 (中学生)

- ① 学校図書館の充実
- ② 深まる読書体験

→P.7

##### 5. 本は生涯の道しるべ (中学校を卒業したら)

###### ① 「知行合一」

※「知行合一(ちこうごういつ)」とは 中江藤樹の教え

人は学ぶことによって、人として行わなければならない道を知ることができる。

学んだだけでそれを行わなければ、本当に知ったことにはならない。物事をよく理解して実行してこそ、はじめて知ったことになる。

- ② 志を持ち続ける子どもたちへ

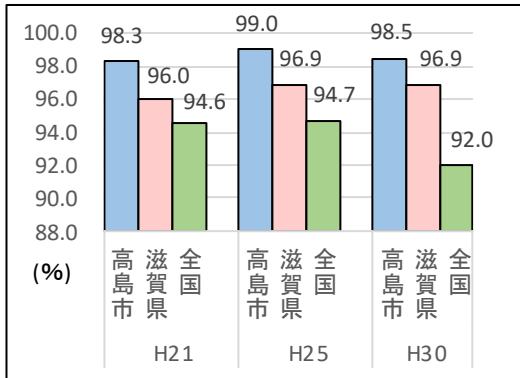
→P.7

## 第2章 第2次計画中の成果と課題

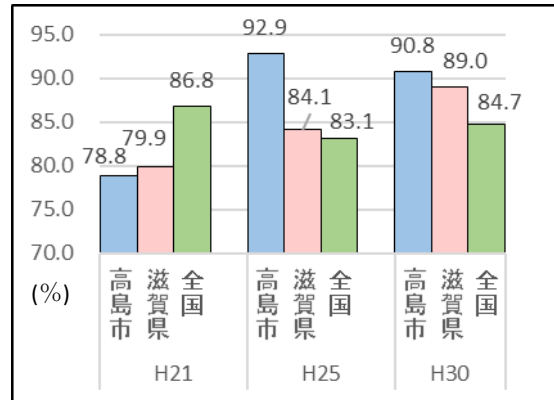
### ① 滋賀県・全国との比較

滋賀県・全国と比べて本を読んだ子どもの割合は高い数値を示していますが、平成25年度の調査時より減少傾向のため、取組の継続が求められます。

5月1か月間に1冊以上本を読んだ読者の割合 ≪滋賀県：読書活動に関する調査より≫



小学生 4~6年

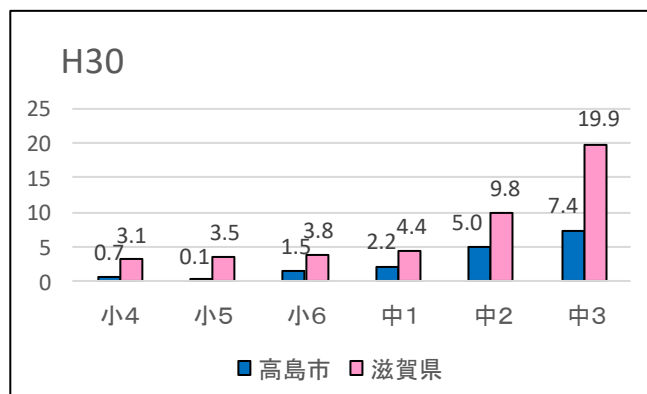
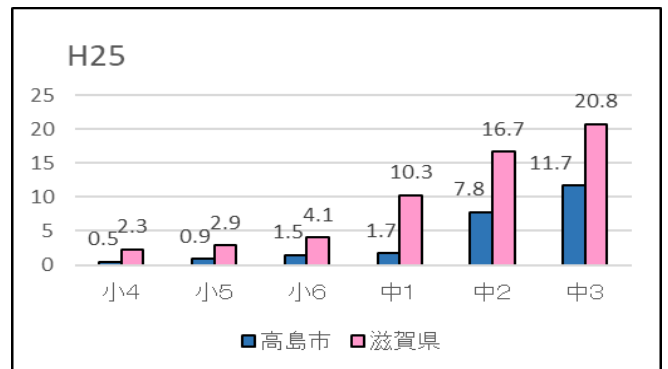
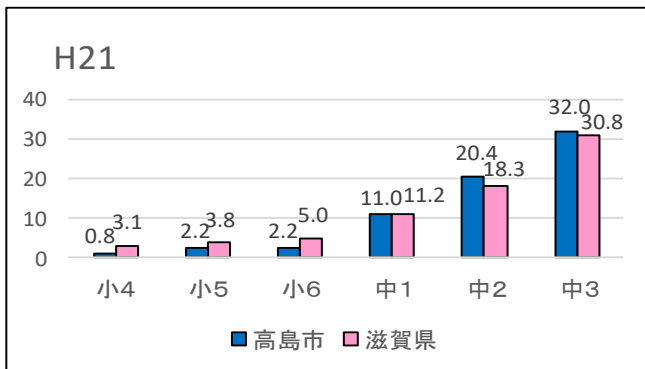


中学生

### ② 不読者割合の比較(学年別)

平成21年度(第1次計画策定前)、平成25年度、平成30年度を比較すると不読者の割合は減少していますが、年齢が進むとともに読書離れが目立ちます。中学生では、学校生活の大きな変化が、読書離れの要因となることも考えられます。

5月1か月間に1冊も本を読まなかった不読者の割合



≪滋賀県：読書活動に関する調査より≫

### ③ 具体的取組の実績

- 成果
- 課題

#### ◆おはなし会などの開催状況

- おはなしサークルやボランティアの協力で開催。
- 高校生によるおはなし会。
- 小学生が保育園の子どもに読み聞かせ。上級生が下級生に読み聞かせる取組等。
- 参加する子どもの減少や低年齢化が進み、就学前児童が中心となっているため、落ち着いて聞いてもらうことが必要な読み聞かせを主としたプログラムが組みにくい。
- おはなしサークルメンバーの高齢化。

#### ◆本の森探検、 訪問貸出(団体貸出)

- 本の森探検(H30実績)  
幼・保・認定こども園16園中14園実施。  
小学校13校中1校実施。
- 年齢が進むにつれ、減少傾向となっている。  
引き続き働きかける。
- 訪問貸出(H30実績)  
幼・保・認定こども園16園中4園実施。  
小学校13校中9校実施。
- 学校・園行事との調整が引き続き必要となる。



本の森探検

#### 用語解説

##### ◎ブックスタート

赤ちゃんと保護者が一緒に絵本を手にする体験を通して心が触れ合うきっかけや言葉かけの大切さを感じる取組。海外でも取り入れられている。

##### ◎ブックトーク

特定のテーマにそって何冊かの本をいろいろな角度から紹介し、本に対する楽しさを知り、興味をもってもらうことを目的とした手法。

##### ◎本の森探検

本に囲まれた空間の心地よさを感じてもらうため、各園や学校などから地域の図書館を訪問すること。

##### ◎読書ボランティア

学校・図書館・公民館などで子どもの読書活動を支援するボランティア。(=図書ボランティア)

#### ◆ブックスタート

- ブックスタートは  
事業開始から10年を経過し、  
保護者にも浸透。
- 「赤ちゃんのためのおはなし会」  
などブックスタートから始まる  
乳幼児向けの事業も開催。

#### ◆小・中学校における 朝の読書活動やブックトーク

- 朝の読書活動  
小学校13校中12校実施。  
中学校6校中全校実施。
- ブックトーク  
養成講座修了生が実践を兼ねて小学校で実施。  
小学校13校中8校実施。  
中学校6校中1校実施。
- あまり浸透していないのが現状。  
事業内容の周知に努める。



ブックトーク(小学生)

#### ◆青少年向け事業

- 図書館への来館の機会となる  
よう、中学生・高校生に向けてYA  
(ヤングアダルト)新着情報を配布。
- 年齢にあった本の紹介をすること  
で、読書活動への興味・関心の動  
機づけを行う。
- 読書の時間を取ることが難しい時期  
であるため、効果があらわれにくい。

### ◆学校図書館の充実

- 県の事業として、また県事業終了後は、市立図書館や学校、ボランティアの協力を得ながら学校図書館のリニューアルを進めた。
- 地域学校協働活動の中で、地域の方々と子どもたちが協力して、学校図書館の環境整備を進めることができた。
- 子どもたちの興味が高まっている機会を逃すことなく持続させるためには、図書室が利用しやすく、本が探しやすい状態を維持しなければならない。事業完了後、出てきた課題を共有することが必要。

### ◆保護者・教職員向け研修、講座、講演会

- 「読み聞かせの方法」や「学校図書館の使い方について」など市立図書館職員を講師に迎え、教職員の学ぶ機会を設けた。
- 園や学校におけるひびきあい活動の中で、親子で本を楽しむための講座を保護者向けに開催。
- ブックトークの研修会を実施し、講座修了者が実際に学校でブックトークを行うなど、学んだことを発表できる機会を設けることができた。

### ◆ボランティアの養成

- ブックスタートサポーターや読書ボランティアの養成講座を開催し、ブックスタート事業や学校図書館の活性化にかかる人材育成のため講座を開催。

### ◆啓発活動と広報

- 学年ごとのお勧め図書の紹介、校内掲示板での新刊図書の案内など関係機関ごとに工夫した啓発活動や広報を実施。
- 「読書週間」や「子ども読書の日」を契機として関係機関が連携し、本への興味・関心を引き出すための啓発活動を実施。
- 子ども読書活動推進計画ロゴの周知。

読書のまち“高島”  
本の楽しみをすべての子どもに



### ◆支援を必要とする子どもの読書活動の推進(すべての活動を通して)

- 生活の中で支援が必要な子どもに対しても読書を楽しむことのできる環境づくりが必要。関係機関と協力しながら個々の状況に応じたサポートをしていくことが望まれる。

## 第3章 高島市子ども読書活動推進計画(第3次計画)

### 第3次計画の性格と役割

平成30年度、国と滋賀県の第4次計画が策定されました。県の計画では「就学前からの読書習慣の形成」「読書に対する興味・関心を広げる取組の普及」などが重点的に取り組むべき事項として掲げられています。保護者が読書に親しむことも、子どもの自己形成に大きな役割を果たすと考えられることから、第3次計画では「家読(うちどく)の啓発・推進」に努めます。

各地域(学校)で取り組まれている「ノースクリーンデー」(ノーメディアウィークなど)を活用しながら、家庭での読書活動を支えていきます。

#### ●家読(うちどく)

「家庭読書」の略語。「家族ふれあい読書」の意味。

この「家読」は「朝読」(朝の読書の略)の家庭版として考えられました。

家族で本を読むことにより、家族の結びつきを強くすることを目的としています。

#### ●ノースクリーンデー(ノーメディアウィークなど)の取組

テレビやゲーム、インターネット等の画面から少し距離をおくことで、生活リズムを見直し、この時間に家族一緒に何かに取り組んだり話をしたりする時間を増やすため、市内の園や学校でも様々な取組が行われています。

第3次計画では、この時間を利用して家庭における読書についての啓発を行います。親子で同じ本を読む、大人が子どもの頃、手にした本について話題にするなど暮らしの中に読書を取り入れます。

### 1. 絵本はこころのミルク(乳児期)

#### 絵本を使ってやさしく語りかけ

赤ちゃんは、肌のぬくもりや声の温かさで「自分は大切にされている」と感じます。

絵本を通して物事への興味を育み、心の成長を促します。本を読んでもらう(声をかけてもらう)ことは、子どもにとって幸せな体験です。

\*絵本の選び方、読み方に困ったら図書館をご利用ください\*

#### 親子で絵本を楽しむ

- ・絵本に出会う第一歩として「ブックスタート」を実施し、親子で絵本を楽しむ時間を持つ大切さを伝えていきます。
- ・「赤ちゃんのためのおはなし会」をはじめ、親子で楽しめるおはなし会を開催します。
- ・母子健康手帳交付時におすすめ本のパンフレットを配布します。



ブックスタート

## 2. 絵本となかよし（幼児期）

### 絵本と遊ぶ大切な時間

豊かなことばと描かれている絵や色との出会いは、想像力を豊かにし、のびやかな心を育てます。

子どもが「読んで」とせがむ時期はほんの一時期です。手を止めて、一緒に絵本を楽しみましょう。



本の森探検

### 地域で支える絵本の世界

- ・絵本の世界を楽しんでもらうため「おはなし会」の開催や「訪問貸出」「団体貸出」「本の森探検」を行っていきます。
- ・関係機関が連携を図り「図書ボランティア」の養成に努めます。
- ・各園では保護者会や参観を通じ、読書の必要性についての意識を高め、保護者への「家読」などの啓発に努めます。

## 3. 本はともだち（小学生）

### 子どもと本をつなぐ学校図書館

絵本から物語の世界へ向かう時期です。読書の喜びは、子どもの読書習慣に大きな影響を与えます。読書離れを防ぐには、年齢に応じて「おもしろい」と思う本に出会うことが大切です。

小学校では、読書習慣がつくよう、朝の読書活動や全校一斉読書に継続して取り組みます。また、教職員の研修会や講演会への参加を進め、意識の向上を図り、子どもたちに読書の喜びを伝えます。

学校の蔵書整理、データベース化を進め、子どもたちが本に出会う機会を増やし、学習と本をつなぎます。



朝の読書活動（小学生）

### そっと後押し本の世界へ

子どもは文字が読めるようになって、本を読んでもらうのが大好きです。

幼児期同様、「家読」など親子で読書を楽しみましょう。地域では保護者や図書ボランティアの協力により、市立図書館をはじめ、児童館や学童保育所などでおはなし会を開催し、体験活動の場でも本に出会える機会を増やします。また、学校と市立図書館が連携し、「訪問貸出」や「団体貸出」「本の森探検」「ブックトーク」などの事業に取り組みます。



ブックトーク（小学生）

#### 4. 本は心の翼(中学生)

##### 学校図書館の充実

この時期こそ生きる力を与えてくれる本との出会いが大切です。

しかし、忙しくなる学校生活の中で、読書の機会と時間は減っています。手にして欲しい本との出会いを支え、人と本とを結びつける環境が整うことも大切です。また、各教科の学習に学校図書館の資料を活用できる環境を整えるため蔵書整理を進め、情報のデータベース化に努めます。



学校図書館の整備

##### 深まる読書体験

市立図書館では、中学生が現状に合った読書活動ができるようにブックリストを作成します。

また、本が未知の世界へはばたく翼となるように、「ブックトーク」や資料を探すお手伝い、「訪問貸出」や「団体貸出」に重点的に取り組むなど読書環境の充実を図ります。さらに、中学生が自分たちの読書体験を生かし、読み語りや本の紹介などを通して、身近な人たちに読書の楽しみを伝えられるような機会を作ります。



ブックトーク(中学生)

#### 5. 本は生涯の道しるべ(中学校を卒業したら)

##### 知行合一

義務教育が終わり、自分で学ぶべき道を見つけていくこの時期こそ、幼い時からの読書とこれからの読書で得る知識が、暮らしや社会生活に役立ちます。一人の社会人として人生を歩んでいく時、さらに深い読書活動により本は生涯の道しるべとなります。

義務教育を終えた子どもが、これらの読書体験を生かし、身近な人たちに読書の楽しみを伝えていく機会を提供します。

##### 志を持ち続ける子どもたちへ

生涯にわたって学べるような環境づくりに努めます。市立図書館はその拠点として、生涯学習における資料提供や、読書環境の整備を推進します。最近ではインターネット等でも多くの情報がすぐ手に入るようになりましたが、内容が不確かなものも多く注意が必要です。「選ばれた言葉」で書かれた「本」は、時間をかけて人を作り、様々な場面で自分を支える基礎を得ることができます。また、学ぶ意欲を生涯持ち続けることができるよう配慮するとともに、あらゆるニーズに応えられるよう資料の充実を図ります。



## 第4章 計画の実現において

### 1. 具体的取組

※色付き部分は重点事業

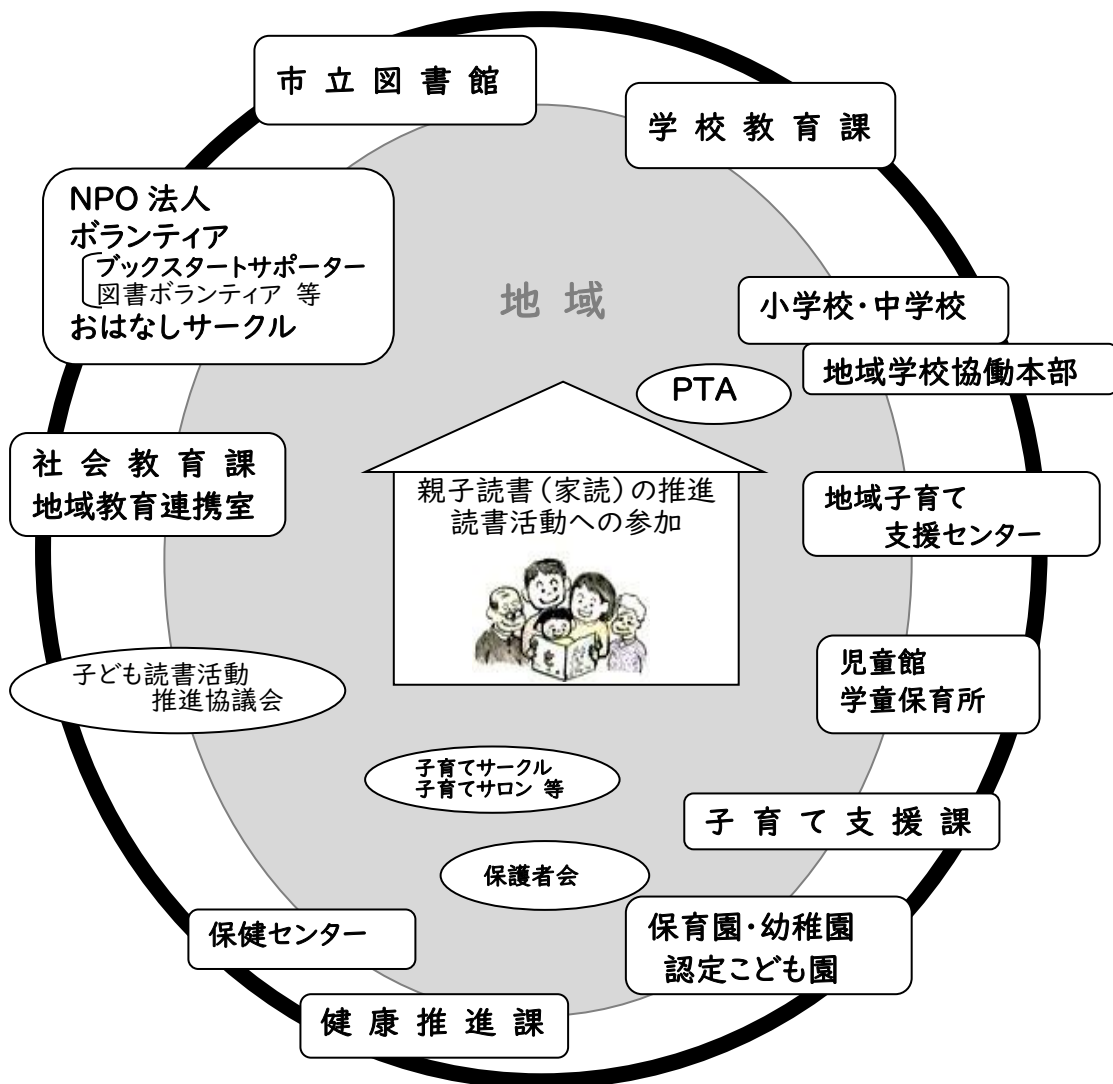
推進事業		対象	現在	目標	推進機関	支援機関
ブックスタート		乳・幼児期	月4回実施	月4回実施	図書館	ブックスタート サポーター 健康推進課
家読(うちどく)啓発・推進		乳・幼児期 小・中学生 中学校を 卒業したら	随時	随時 リスト作成・配布 啓発・推進	図書館 子育て支援課 (児童館、学童保育所、 地域子育て支援センター、 子育て親子つどいの広場) (幼・保・認定こども園) (保護者会) 学校教育課(小・中学校) (PTA)	NPO 法人 ボランティア おはなしサークル
おはなし会(読み語り含む)		乳・幼児期 小・中学生 中学校を 卒業したら	市立図書館 小・中学校の一部 幼・保・認定こども園 児童館 子育て支援センター	小学校での拡充 内容の工夫	図書館 子育て支援課 (児童館、学童保育所、 地域子育て支援センター、 子育て親子つどいの広場) (幼・保・認定こども園) (保護者会) 学校教育課(小・中学校)	おはなしサークル NPO 法人 ボランティア
読書指導の 充実	朝の読書活動	小・中学生	一部未実施	小・中学校の 全学年で実施	学校教育課 (小・中学校)	おはなしサークル NPO 法人 ボランティア 図書館、PTA
	ブックトーク	小・中学生	小学校・中学校の 一部で実施	全小学校での実施 中学校への拡充	学校教育課 (小・中学校)	NPO 法人 おはなしサークル ボランティア 図書館、PTA
読書の楽しみ伝達事業		小・中学生	年1回程度実施	年1回程度実施	学校教育課(中学校) 社会教育課 (地域教育連携室)	図書館 NPO 法人 おはなしサークル ボランティア
本の森探検 または訪問貸出・団体貸出		乳・幼児期 小・中学生	幼・保・認定こども園 小学校の 一部で実施	幼・保・認定こども園 小・中学校で実施 (本の森探検を推奨)	子育て支援課 (児童館、学童保育所、 地域子育て支援センター、 子育て親子つどいの広場) (幼・保・認定こども園) (保護者会) 学校教育課(小・中学校)	図書館 ボランティア PTA
学校図書館 の充実	学校図書館の 活性化事業	小・中学生	随時実施	未実施校を 計画的に進める	学校教育課 (小・中学校)	社会教育課 ボランティア PTA、NPO 法人 図書館
青少年向け事業		中学校を 卒業したら	新着情報配布	市内の高校との 連携	図書館	—

### 一般対象

保護者・教職員向け 研修、講座、講演会 絵本の選び方・読み方相談		乳・幼児期 小・中学生 中学校を 卒業した 子どもに向けて	不定期 機関裁量	年1回以上の 開催または参加	子育て支援課 (児童館、学童保育所、 地域子育て支援センター、 子育て親子つどいの広場) (幼・保・認定こども園) (保護者会) 学校教育課(小・中学校) (PTA)	社会教育課 図書館 NPO 法人 おはなしサークル ボランティア
ボランティア の養成	ブックスタート サポーター	乳・幼児期の 子どもに向けて	状況に応じて開催	継続実施・拡充	図書館	子育て支援課 NPO 法人 ボランティア
	図書 ボランティア	乳・幼児期 小・中学生 中学校を 卒業した 子どもに向けて	H30 年度実施	2年に1回程度の 講座の実施	図書館、NPO 法人 学校教育課 (小・中学校) (PTA)	社会教育課 ボランティア
計画の広報と啓発 等		市全体	随時 読書週間・ 子ども読書の日	推進ロゴの活用 随時 概要版の配布 (校長会・園長会等)	学校教育課 子育て支援課 図書館、NPO 法人	社会教育課
子ども読書活動推進協議会		—	年3回程度実施	関係各課からの状 況報告と課題分析・ 解決方法の検討	社会教育課	学校教育課 学校図書館関係者 図書館 子育て支援課 民間団体関係者

## 2. 関係機関との連携

読書のまち“高島”  
本の楽しみをすべての子どもに  
高島市子ども読書活動推進計画(第3次計画)



関係機関の主体的な取組と連携により効果的な計画の推進を図ります。

### 3. 「高島市子ども読書活動推進協議会」の開催

計画の推進にあたって、関係各課および一般市民の代表者により構成する「高島市子ども読書活動推進協議会」(以下、協議会という。)を開催します。協議会では、関係各課が実施している本計画の実現に向けた具体的取り組みの進捗状況を報告しながら、課題の整理を行うとともに目的達成に向けた協議を行っていきます。

#### 「高島市子ども読書活動推進計画」(第3次計画)策定の経緯

開催日等		内容
第1回 検討委員会	令和元年 7月23日(火)	・委員委嘱 ・委員長・副委員長選出 ・現状・課題についての意見交換
第1回 意見集約	令和元年 8月22日(木)	・意見集約
第2回 意見集約	令和元年 9月13日(金)	・意見集約
第3回 意見集約	令和元年10月15日(火)	・意見集約
第2回 検討委員会 (第4回 意見集約)	令和元年10月29日(火)	・意見交換/意見集約
最終意見集約	令和元年11月11日(月)	・意見集約、最終校正
定例教育委員会		
		・パブリックコメント 意見回答について
高島市子ども読書活動推進計画 (第3次計画)策定	令和2年 3月	—

#### 高島市子ども読書活動推進計画検討委員名簿

区分	役職等	氏名
委員長	高島市立高島中学校校長	内藤 孝
副委員長	高島市立図書館館長	玉木 健史
委員	高島市図書館協議会委員	井上 恵美
//	高島市PTA連絡協議会広報部員	中村 博子
//	読み語りサークルほっとけーき	矢野 勝江
//	高島市立本庄小学校校長	水江 博峰
//	高島市保育協議会保育士部会会長	川那部 京子
//	高島市子ども未来部次長	山本 功
//	高島市教育委員会事務局学校教育課指導主事	保木 卓也
//	高島市教育委員会事務局教育総務部次長	川原林 剛



湖西中学校生徒 作

## 高島市子ども読書活動推進計画

(第3次計画)

令和2年3月

高島市教育委員会

(社会教育課)

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地

TEL 0740-25-8561 FAX 0740-25-8145